

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------|-----|------|-----|---|
| 教科名 | 国語 | 科目名 | 言語文化 | 単位数 | 3 |
| 対象学年・組 | 第1学年 A・B・C・E組 | | | | |
| 使用教科書 | 「新編 言語文化」大修館書店 | | | | |
| 使用教材 | 「漢字ボックス」「漢字反復ノート」浜島書店・「国語便覧 改訂版」大修館書店 | | | | |

教科の目標

| | |
|-----------------|---|
| 【知識及び技能】 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 |

科目の目標

| | | |
|---|--|--|
| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|--|---|----|---|---|---|---|----|----------|
| | | | 語 | 書 | | | | | |
| 1 学 期 | A 単元「漢字と仮名の使い分け」 【知識及び技能】 語彙を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 表記に興味をもち、調べたり考えたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえようとする。 | ・日本語の特色を理解し言葉の豊かさを発見させる。 ・教科書 等 | ○ | | 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | B 単元「祖母が笑うということ」 【知識及び技能】 文章の意味を文脈から推測する。 【思考力、判断力、表現力等】 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わおうとしている。 | ・さまざまな文章を読み味わうことで、言葉の力について考えさせる。 ・教科書 等 | | ○ | 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。 | | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | C 単元「一瞬の風になれ」 【知識及び技能】 読書活動の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人間関係などを意識しながら作品を味わおうとしている。 | ・読書に興味をもたせ、積極的に読書に取り組ませる。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わうようにさせる。 ・教科書 等 | | ○ | 【知識・技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や印象的な言葉などを意識しながら作品を味わおうとしている。 | | ○ | ○ | 12 |
| D 単元「児のそら寝」 【知識及び技能】 繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 児と僧たらの行動、心情の移り変わりを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 古文を読むことに興味を持ち、学習に意欲的に取り組もうとしている。 | ・古文の言葉の特徴やよきまりを知り、古典の世界に親しませる。 ・教科書 等 | | ○ | 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のよきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。 | | ○ | ○ | 12 | |
| 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学 期 | E 単元「羅生門」 【知識及び技能】 主な常用漢字を書き、文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉をおとして、他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 | ・古典を題材にした近代文学をおとして、その営みについて考えさせる。 ・教科書 等 | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をおとして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | F 単元「春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた」 【知識及び技能】 詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 情景や心情を味わおうとしている。 | ・古代から現代に至るまでの、四季折々の詩歌を味わい、創作する楽しみをもたせる。 ・教科書 等 | | ○ | 【知識・技能】 ・詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のよきまりや訓読のよきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。 | | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | G 単元「訓読のよきまり／格言／再読文字」「守株」 【知識及び技能】 漢文の訓読のよきまりについて理解する。語で語られている教訓の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に興味を持ち、学習に意欲的に取り組もうとしている。 | ・漢文訓読の方法を理解し、漢文に親しませる。 ・故事成語を取り上げ、その元になった中国の古典に触れさせる。 ・教科書 等 | | ○ | 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のよきまりや訓読のよきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 | | ○ | ○ | 25 |
| 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 3 学 期 | H 単元「コルベ神父」 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。 | ・時代背景や歴史的事実をふまえながら文章を読み、内容の解釈を深めさせる。 ・教科書 等 | | ○ | 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や歴史的事実に興味をもち、筆者の考えを読み取ろうとしている。 | | ○ | ○ | 10 |
| | I 単元「足し算の文化」 【知識及び技能】 日本文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深めようとしている。 | ・日本文化と外国の文化を比べ、それぞれの文化の特色や伝統を見つけさせる。 ・教科書 等 | | ○ | 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。 | | ○ | ○ | 12 |
| | 学年末考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 |

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|------------------|-----|-----|-----|---|
| 教科名 | 数学 | 科目名 | 数学Ⅰ | 単位数 | 3 |
| 対象学年・組 | 1年 A組、B組、C組、E組 | | | | |
| 使用教科書 | 数研出版 新 高校の数学Ⅰ | | | | |
| 使用教材 | 数研出版 ポイントノート 数学Ⅰ | | | | |

| | |
|-------|---|
| 教科の目標 | 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したし、数学的に解釈したり、数学的に表現・図像したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習のよさを認識し学習を主体的に行う態度、他科や他校の学習活動について積極的に参加しようとする態度、問題解決の過程を振り返って学習を振り返り、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |
|-------|---|

| 【知識及び技能】 | 【思考力・判断力・表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---|--|---|
| 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したし、数学的に解釈したり、数学的に表現・図像したりする技能を身に付けるようにする。 | 命題の条件や結論に着目し、数式を多面的にみたり目的に応じて適切に要請したりする力、図形や幾何学的事象に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を動的に表現してその特徴を数式・グラフを用いて適切に表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考える数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を求めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 感 | 担当 |
|---|--|---|---|---|---|----|
| <p>1 第1章 数と式 第1節 数と式の計算</p> <p>【知識及び技能】 四則計算や分配法則・分配法則を用いて、多項式の乗法の計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 四則計算の優先順位を正確に判断できる。式の展開と分配法則の関係を確認することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これからの学習の基礎となる数の計算方法に関心をもち、積極的に学習しようとする。多項式の乗法に分配法則が使われることに関心をもち、考察しようとする。</p> | <p>・四則計算や指数法則を用いた計算などを反復演習し数学の基礎の定着を図る。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>1 第1章 数と式 第1節 数と式の計算</p> <p>【知識及び技能】 1節の公式を利用できる。因数分解の公式を利用できる。文字のおきかえを利用して、展開や因数分解ができる。平方根の意味を理解し、その計算ができる。分母を有理化することができる。絶対値の意味を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 たすき掛けの仕組みを理解している。文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようにすることを意識する。因数を含む式の計算に展開の公式を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 展開と因数分解の関係を重視し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。おきかえなどの工夫によって、よりよい方法を考察しようとする。</p> | <p>・展開・因数分解の公式を理解し、それらを活用できるようにする。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>1 第1章 数と式 第2節 1次不等式</p> <p>【知識及び技能】 1次方程式を解くことができる。不等号の意味を理解している。不等式の性質を理解している。1次不等式を解くことができる。変域や整数解を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 日常の問題を解決するために、1次方程式を活用することができる。数量の大小関係を式で表現することができる。不等式の性質を用いて、1次不等式を解く方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の性質について、等式の性質と比較して、考察しようとする。1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。</p> | <p>・1次不等式の解法について理解し、その定着を図る。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>1 第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ</p> <p>【知識及び技能】 放物線の形や軸、頂点について理解している。$y=ax^2+bx+c$のグラフが描きかたができる。$ax^2+bx+c=a(x-p)^2+q$の形に変形できる。平方完成を用いて $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかきかたができる。 【思考力・判断力・表現力】 関数を表す式、グラフによって考察することができる。$y=ax^2+bx+c$ のグラフについて、軸方向・軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の事象の中に関数を見つけようとする。放物線のもつ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとする。</p> | <p>・2次関数のグラフが描きかたについて学ぶ。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 9 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>1 第2章 2次関数 第2節 2次関数の値の変化</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の最大値・最小値を求めることができる。因数分解、解の公式を利用して2次方程式を解くことができる。2次関数のグラフの軸の存在の範囲を求めることができる。2次不等式を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 2次関数のグラフと軸の存在の範囲や位置関係を、2次方程式と関連させて考察することができる。2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数の最大・最小の問題を、図によって視覚的に考察しようとする。2次不等式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。</p> | <p>・2次関数の最大値・最小値や2次不等式などが求められるようにする。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 11 |
| <p>2 第3章 図形と計量 第1節 三角比</p> <p>【知識及び技能】 三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。正弦・余弦・正接を求められる。三角比の相互関係を利用して、三角比の値の取りかたの値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 測量に三角比を活用することができる。拡張された三角比を、座標平面上に図示して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 直接測ることのできない距離を求めることに関心をもち、視角の概念と異なり、視角の三角比が性質を利用して定義される理由に関心をもち、考察しようとする。</p> | <p>・三角比の基礎・基本を理解し、正弦・余弦・正接が求められるようにする。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>2 第3章 図形と計量 第2節 三角形への応用</p> <p>【知識及び技能】 正弦定理を利用して、辺の長さや外接円の半径を求めることができる。余弦定理を利用して、辺の長さや面積を求めることができる。三角形の面積を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 測量の問題に正弦定理・余弦定理を活用することができる。空間図形から適当な三角形を取り出して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。三角比と三角形の面積の関係を関心にもち、公式を導こうとする。</p> | <p>・定理を用いて三角形の辺・角・面積が求められるように反復演習し計算力を養う。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>2 第4章 集合と命題</p> <p>【知識及び技能】 集合を、要素を書き並べて表すことができる。共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合について理解している。命題の真偽を判定することができる。十分条件、必要条件の意味を理解している。命題の逆、対偶を作ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 集合に関する記号を、適切に用いることができる。ベクトルを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。</p> | <p>・集合の考え方や、命題の真偽などについて学ぶ。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 9 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>1 第5章 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 平均値、分散、変動幅、中央値、平均値、四分位数などの定義や意味を理解し、それらを用いて求めることができる。ヒストグラム、箱ひげ図などをかきかたができる。 【思考力・判断力・表現力】 どの代表値を用いるかの適切なかきかたを判断している。四分位範囲や箱ひげ図などをもとに、データの散らばり具合を比較できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。データの代表値が、その特性などを考察しようとする。データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。</p> | <p>・データを分析する上で必要な知識・技能を学ぶ。 ・教科書</p> | <p>【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ | 29 |
| <p>学年末考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|---------------|-----|---------|-----|---|
| 教科名 | 理科 | 科目名 | 科学と人間生活 | 単位数 | 2 |
| 対象学年・組 | 1学年 A・B・C・E組 | | | | |
| 使用教科書 | 科学と人間生活（実教出版） | | | | |
| 使用教材 | プリント | | | | |

教科の目標

| | |
|-----------------|---|
| 【知識及び技能】 | 正しい情報を得て、科学的な用語や事象を答えることができる。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 正しい情報を共有し、対話を通して理解を深め、課題の解決ができる。 |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 自らの資質・能力を理解し、授業を通してより発展するように取り組むことができる。 |

科目の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|--|--|--|
| 日常における科学的な知識や事象の名称を学び、科学についての理解を深めるとともに、専門科目を学ぶうえで必要な基礎的・基本的な知識を身につける。 | 科学的な理解を通して、比較することや分類することを理解し、一般化・具体化の往還ができる。 | 自らの学びの段階を客観的に理解、毎時間での自らの理解や主体性についての変容を文章にまとめることができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-----------------------|---|---|---|---|---|---|------------------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 中 間 | A 単元 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・金属の性質から【分類する・構造化する・関連付ける】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | B 単元 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・金属の性質から【分類する・構造化する・関連付ける】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 1 学 期 期 末 | C 単元 【知識及び技能】 資料の図や表から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・プラスチックの性質から【分類する・順序付ける・関連付ける】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | D 単元 【知識及び技能】 資料の図や表から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・プラスチックの性質から【分類する・順序付ける・関連付ける】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学 期 中 間 | E 単元 【知識及び技能】 資料から得られた知識を課題解決に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現し、互いに考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・衣料と食品から【関連付ける・抽象化する・見通す】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | F 単元 【知識及び技能】 資料から得られた知識を課題解決に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現し、互いに考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・衣料と食品から【関連付ける・抽象化する・見通す】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学 期 期 末 | G 単元 【知識及び技能】 資料から得られた知識を課題解決に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現し、互いに考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・生物と光から【関連付ける・理由付ける】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | H 単元 【知識及び技能】 資料から得られた知識を課題解決に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現し、互いに考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができる。 | ・生物と光から【関連付ける・理由付ける】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学 期 | I 単元 【知識及び技能】 科学的な事象を文章にまとめ説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒間で知識や考えを表現し、互いに考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの変容を自ら気づくことができ、文章に適切にまとめることができる。 | ・微生物とその利用から【関連付ける・比較する】ことを学ぶ。 ・教科書、プリント ・授業後の振り返りに一人1台端末を利用する。 | 【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 学年末考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

授業時数合計

70

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|------------|-----|----|-----|---|
| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 体育 | 単位数 | 3 |
| 対象学年・組 | 1年A・B・C・E組 | | | | |
| 使用教科書 | なし | | | | |
| 使用教材 | なし | | | | |

教科の目標

| | |
|-----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

科目の目標

| | | |
|---|---|---|
| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| ・ 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則 ・ 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、 実生活への取り入れ方 | ・ 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること ・ 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫すると | ・ 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切に、フェアなプレイを心掛ける ・ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・ ひとりひとりの違いを大切に、互いに高めあうようにする |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|--|---|---|---|---|------------------|
| <p>A 単元</p> <p>【理由付けする・関連づける】 (オリエンテーション) 体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>【具体化する・構造化する】 (身体づくり運動・体力テスト) 体力を高める運動の仕方を理解し実践できるようにする。 計測方法を理解し正確に実施することができる。</p> <p>(柔道) 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。 後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 柔道のルールを理解する。 袈裟固・横四方固の習得。</p> <p>(水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする。 クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。</p> | <p>オリエンテーション 身体づくり運動 体力テスト 武道(柔道) 水泳</p> | <p>【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力】② 【主体的に学習に取り組む態度】③ 主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか①②③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか②③ 受身が正しく出来ているか① 抑技が正しく出来ているか① 礼法が正しくできているか① 柔道着を正しく着られているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する</p> | ○ | ○ | ○ | 30 |
| <p>【具体化する・構造化する】 (柔道) 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。 後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 袈裟固、横四方固、上四方固、縦四方固の習得。 相手の背後からの攻撃パターンの習得。 自分が仰向けの姿勢からの攻撃パターンの習得。 背中合わせで寝技乱取りができるようになる。 (水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする。 クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 速く正確に泳げるようになる。 (バドミントン) フォアハンド・バックハンド及びサーブの習得。 スマッシュ・ドライブ・ハイクリア・ドロップ ショットの習得。 シングルス・ダブルスのルールを理解し公正に試合ができるようになる。 (卓球) フォアハンドドライブ・バックハンドドライブ及びサーブの習得。 ラリーを続けられるようにする。 シングルス・ダブルスのルールを理解し公正に試合ができるようになる。 (長距離走) 長距離走の特性を理解し、効率的なフォームで走ることができる。 一定の時間、安定したペースで走ることができる。</p> | <p>武道(柔道) 水泳 バドミントン 卓球 陸上競技(長距離走)</p> | <p>主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか①②③ 受身が正しく出来ているか①② 抑技が正しく出来ているか①② 礼法が正しくできているか①② 状況に応じた技の攻防が出来ているか①② 柔道着を素早く正確に着られるか②③ 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①② ルールを理解し公正に試合が出来ているか①②③ 状況に応じたショットを打つことができるか①② 一定の時間、安定したペースで走ることができるか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する</p> | ○ | ○ | ○ | 45 |
| <p>【具体化する・構造化する】 (柔道) 柔道のルールを理解し公正に寝技の試合をすることができる。 (長距離走) 長距離走の特性を理解し、効率的なフォームで走ることができる。 一定の時間安定したペースで走ることができる。 マラソン大会を完走する。 【理由付けする・関連付ける】 (体育理論) 運動やスポーツの楽しさ・必要性を理解し、豊かなスポーツライフを送ることができるようにする。</p> | <p>武道(柔道) 陸上競技(長距離走) 体育理論</p> | <p>【観点】 公正な態度で試合ができるか②③ 安定したペースでより速く走ることができるか①②③ マラソン大会を完走できるか①②③ 運動やスポーツの意義を理解できているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストプリントチェックを行い評価する</p> | ○ | ○ | ○ | 30 |

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|---------------|-----|----|-----|---|
| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 保健 | 単位数 | 1 |
| 対象学年・組 | 1年A・B・C・E組 | | | | |
| 使用教科書 | 新高等保健体育：大修館書店 | | | | |
| 使用教材 | なし | | | | |

教科の目標

| | |
|-----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

科目の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---|---|---|
| ・ 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則 ・ 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、 実生活への取り入れ方 | ・ 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること ・ 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫すると | ・ 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、フェアなプレイを心掛ける ・ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・ ひとりひとりの違いを大切にし、互いに高めあうようにする |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|---|---|--|---|---|---|------------------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | <p>【比較する・分類する・理由付けする・関連付ける】</p> <p>健康の考え方が変化していることを例をあげて説明できる。健康を成り立たせている要因をあげることができる。</p> <p>わが国の健康水準の変化とその背景を説明できる。わが国の現在の健康問題をあげることができる。</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択には、何が重要化を説明できる。ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できる。</p> <p>生活習慣病の例をあげ、なぜその病気が生活習慣病と呼ばれるかを説明できる。生活習慣病を予防する方法を2つに分けて説明できる。</p> <p>健康にとっての食事の意味について説明できる。健康的な食事のポイントを上げることができる。</p> <p>運動が健康に及ぼす影響と、健康によい運動の行い方について説明できる。健康にとっての休養の意味と、適切な休養のとり方について説明できる。</p> <p>喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できる。日本や世界における喫煙対策の例をあげることができる。</p> <p>。</p> <p>【具体化する・構造化する】</p> | <p>健康の考え方と成り立ち</p> <p>私たちの健康のすがた</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり</p> <p>生活習慣病とその予防</p> <p>食事と健康</p> <p>運動・休養と健康</p> <p>喫煙と健康</p> | <p>【観点】</p> <p>授業のルールを守ることができているか 健康・安全について理解を深めようとしているか 健康についての課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考判断しているか</p> <p>【方法】</p> <p>授業の取り組み及びノートチェック、定期考査の実施</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 2 学 期 | <p>【比較する・分類する・理由付けする・関連付ける】</p> <p>飲酒による健康への短期的な影響と長期的な影響を説明できる。飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策の例をあげることができる。</p> <p>薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について説明できる。薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策の例をあげることができる。</p> <p>新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できる。感染症の予防について、社会と個人に分けて説明できる。</p> <p>新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できる。感染症の予防について、社会と個人に分けて説明できる。</p> <p>人間の欲求の種類を説明できる。欲求不満に対処するための適応規制の例をあげることができる。</p> <p>心と体の働きが相互に影響しあう関係について例をあげて説明できる。ストレスの心理・社会的要因と物理的要因の例をあげることができる。</p> <p>ストレスへのさまざまな対処方法の例をあげることができる。自己実現と心の健康の関係を説明できる。</p> | <p>飲酒と健康</p> <p>薬物乱用と健康</p> <p>感染症とその予防</p> <p>性感染症・エイズとその予防</p> <p>欲求と適応規制</p> <p>心身相関とストレス</p> <p>心の健康のために</p> | <p>【観点】</p> <p>授業のルールを守ることができているか 健康・安全について理解を深めようとしているか 健康についての課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考判断しているか</p> <p>【方法】</p> <p>授業の取り組み及びノートチェック、定期考査の実施</p> | ○ | ○ | ○ | 15 |
| 3 学 期 | <p>【比較する・分類する・理由付けする・関連付ける】</p> <p>若者の交通事故の特徴を説明できる。交通事故の発生に関係する要因を、例をあげて説明できる。</p> <p>運転者に必要な資質と責任を説明できる。安全な交通社会づくりのための対策を、例をあげて説明できる。</p> <p>適切な応急手当の意義を説明できる。傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。</p> <p>日常的な応急手当の手順や方法を説明できる。熱中症の応急手当の手順や方法が説明できる。</p> <p>胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理を説明できる。心肺蘇生法の各手順のポイントをあげることができる。</p> | <p>交通事故の現状と要因</p> <p>交通事故を防ぐために</p> <p>応急手当の意義とその基本</p> <p>日常的な応急手当</p> <p>心肺蘇生法の原理とおこない方</p> | <p>【観点】</p> <p>授業のルールを守ることができているか 健康・安全について理解を深めようとしているか 健康についての課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考判断しているか</p> <p>【方法】</p> <p>授業の取り組み及びノートチェック、定期考査の実施</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|---------------|-----|------|-----|---|
| 教科名 | 芸術 | 科目名 | 音楽 I | 単位数 | 2 |
| 対象学年・組 | 1学年 | | | | |
| 使用教科書 | 教育芸術社 MOUSA 1 | | | | |
| 使用教材 | 歌集・ミュージックランド | | | | |

教科の目標 音楽に関する幅広い活動を通して、心豊かな生活を送り、社会の中で創造的な関わりをもつ力を養い、豊かな情操を培う

| | |
|-----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 音楽と文化・歴史背景等の関わりについて学び、理解を多角的に深める。音楽表現のための多様な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表現している。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 音楽を形づくる要素や、要素同士の関連を知覚し、それらを音楽にする際に意図を持つことができる。適切に評論するなどできている。 |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 音楽や音楽文化と豊かに関わり、主体的、協働的に表現したり、鑑賞するなどの学習活動に取り組んでいる。 |

科目の目標 音楽の幅広い活動を通して、主体的に生活や社会の中で自己を表現し、他者とコミュニケーションする能力を育成する。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 音楽の持つ要素や、文化的、歴史的背景の関連性を理解し、音楽の多様性を理解する。歌唱、器楽、創作において表現するための技能を身につける。 | 自己の創意工夫によって豊かな音楽表現をできるようにする。また、音楽の特徴を理解し評価しながら、美しさや面白さを味わって聴くことができるようになる。 | 音楽の幅広い活動を通して、主体的に表現に取り組み、他者と思いやりをもって協働する態度を養う。また、音楽によって生活や社会を豊かにしていく心を持つ。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|--|----|---|---|----|--|---|---|---|------------------|
| | | | 歌 | 器 | 創 | | | | | | |
| 1 学 期 | A 単元 歌唱表現 校歌習得、教科書掲載曲を歌う 【知識及び技能】歌詞の意味を理解し、日本語を伝えられるような発音、発声の技術について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】曲想や音楽の特徴を理解し、表現するのにふさわしい声を考えている。 【学びに向かう力、人間性等】自分の声と身体に注意を向け、しっかりした発声を身につける | ・校歌、および歌集、教科書掲載曲を歌う。 ・発声練習を行い、身体の使い方や母音の口の開け方、子音の発音の注意点を学ぶ。 ・声変わりや自分の今の声域について知る。 | ○ | | | ○ | ・曲想と音楽の構造、歌詞の意味内容を理解して歌っている。(知) ・曲にふさわしい発声を理解し、工夫して歌っている。(思) ・咽喉、胸郭、腹部など、身体の使い方を意識し、発声を行っている。(態) | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | B 単元 楽典(拍子とリズム) 【知識及び技能】楽譜の基礎知識を学ぶ。拍子、リズムについて読譜の基礎事項を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】様々な音楽を聴き、身体を使ったリズム活動などを関連させて基本的なリズムの記譜法を学習する。 【学びに向かう力、人間性等】様々な音楽の基本拍を聴き分けることで、多くのスタイルの音楽を知り、それらを楽しむながら音楽活動を行う | ・4分の4拍子の捉え方 ・音符の種類と基本拍 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・五線譜の基礎的なシステムを理解している。(知) ・様々な曲を聴きながらリズム活動をする中で、音符の長さなどを捉え、楽譜と結びつけることができる。(思) ・様々な曲を楽しみながら、学習と音楽活動を結び合わせて関心を持つことが出来る(態) | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | C 単元 キーボード(基礎) 【知識及び技能】五線譜の意味を理解し、キーボードの構造を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】指使いなどの奏法を楽譜に関連させて考え、練習することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】既知の曲を使い、学習したことを主体的に関連させ練習を工夫できるようにする。 | ・キーボードの構造 ・指使い ・五線と音高 ・リズムの記譜 | | ○ | | ○ | ・リズムと合わせて五線譜の音高を理解している。(知) ・指使いを考えながら、キーボードでメロディを弾けるようになる。(思) ・キーボード奏法や楽譜の学習したことを合わせて練習を自主的に楽しんで行うことができる。(態) | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | D 単元 ポピュラー音楽 【知識及び技能】ロックやヒップホップなど、現在の世界のポップスについて、歴史や音楽の特徴などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ポピュラー音楽とはどのような成り立ちで出来たものなのかを知り、現代の多様な音楽の在り方を考えながら鑑賞している。 【学びに向かう力、人間性等】自分の個人的な音楽経験と照らし合わせ、その音楽の歴史や成立を知ることで、新たな知見を得ることが出来る | ・ロックの起源や特徴について ・ブルースやジャズの歴史や成立について ・ほかの多様なポピュラー音楽の特徴、成立、社会的影響力など学ぶ | ○ | ○ | | ○ | ・様々な音楽の歴史的成立や特徴などを、自らの関心からインターネットや教科書を用い、調べることができる。(知)(態) ・音楽の特徴がどのようなものなのか、リズム活動や歌唱活動を通じて、考えを深めることができる。(表) ・様々な着眼点を得て、曲や演奏に対する評価を根拠を呈し、行うことができる(思) | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 2 学 期 | E 単元 ギター(基礎) 【知識及び技能】ギターの構造を習得する。タブ、コードの基礎を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】アポヤンド奏法、ストローク奏法を習得し、それぞれの曲に応じた表現を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】既知の曲を使い、学習したことを主体的に関連させ、練習を行う。 | ・ギターの構造について ・指使い、ピックの使い方 ・タブ譜とコードについて ・基本奏法を学習 | ○ | ○ | | ○ | ・ギターの基本事項を習得することで、体系立てた練習を目論見立て、目的にそって実行することができる。(知)(表)(態) ・曲想に合った弾き方、歌い方を工夫し、ふさわしく表現している。(表)(思) | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | F 単元 民族音楽 【知識及び技能】様々な民族音楽を見たり聴いたりすることで、その特徴を見取り、聞き分けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】特徴的なリズムや音階、また楽器や舞踊などを学習し、自ら表現活動をする中で、より包括的に音楽を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】民族音楽の良さや特徴を感じ取り、それらの意味や価値を考えている | ・リズム楽器習得、演奏 ・民族楽器の演奏法について ・舞踊や楽器を鑑賞 | | ○ | ○ | ○ | ・民族的な音楽を知ることでその歴史的価値を学び、面白さ、美しさを感じ取ることができる。(知)(態) ・ギターの学習と合わせて、民族的な楽器としてのギターと、ポップスで使用される時の音楽的要素や役回りの違いなどを考え、適切に評価することが出来る。(思) | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | G 単元 ギター(応用) 【知識及び技能】ギター基礎で学んだことを活かし、コードを弾きながら歌うことで、より音楽を包括的に感じ取り、表現する。 【思考力、判断力、表現力等】既知の曲をより自分らしい表現となるよう、発声や音楽スタイルを工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】今までに得た演奏知識を使い、より豊かな表現ができるよう練習している。また、クラスのメンバーと協力しあって練習している。 | ・弾き語りによって表現する ・テンポ感、ストロークによるビートの表現 ・音楽にふさわしい声を工夫する | ○ | ○ | | ○ | ・ギター弾き語りによって、より包括的に音楽の諸要素を感じ取り、それらがどのように関連し合っているか、理解している。(知) ・曲がどのような音楽的内容によって成立し、音楽になっているかを理解し、諸要素を自分で表現している。(思) ・一曲の練習にあたり、どのように練習するか、目論見を形成して主体的に取り組んでいる。(態) | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | H 単元 日本伝統音楽 【知識及び技能】和楽器の構造や伝統音楽を知り、これまでの学習した楽器や音楽との違いについて、比較・学習する。 【思考力、判断力、表現力等】伝統芸能や舞台の鑑賞によって、それぞれの特徴や歴史的な成立、関わりを学習し、表現される内容を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】音楽上の特徴などを見取り、聴き取ることで新たな発見を得、社会の中での価値を理解する。 | ・地域の伝統音楽について ・日本の伝統的な舞台芸能について(能楽、歌舞伎など) ・和楽器 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・三味線とギターの違い、箏はどのように調弦するかなど、これまでの学習をふり振り返りながら、共通するところや、違いを掘り下げ、音楽的な要素を聞き取り、考えることができる。(知)(思) ・伝統芸能の舞台表現を知り、その面白みや工夫について発見を楽しみ、それを文章に主観、客観を織り交ぜながら書くことができる。(思) ・伝統芸能の良さを自分なりに発見し、社会的な価値を考えることができる。(態) | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 3 学 期 | I 単元 作曲(作品創作) 【知識及び技能】音階について学習し、雰囲気を持った歌を創作する。 【思考力、判断力、表現力等】歌詞のもつイメージと音階の雰囲気を合致させ、リズムや構成を工夫した音楽にする。また、それを書き残す。 【主体的に学習に取り組む態度】詩を味わう、音階の響きを聴き取るなどして、表現の手がかりを想像力を使って模索している。 | ・五音音階、わらべうたの音階、沖縄音階などを学習する。 ・詩を選び、音階を使った歌を創作する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・音階の特徴や雰囲気を理解している。 ・音楽上の導入部や盛り上がる部分など、構成を考え、作品に活かそうとしている。(知) ・楽器を弾く、自分で歌うなど工夫を重ね、一つのまとまりを感じ取れる音楽に仕上げていく。(思・表) ・他者に聴かせることができ、かつ、自分でも記譜を工夫している。(態) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | J 単元 社会と音楽 【知識・技能】社会の中の音楽として、著作権法、適切な批評のあり方についてなど、マナーやインターネットリテラシーを学習する 【思考・判断・表現等】自分の好きな音楽を他者に伝える、批評的文章を作成するにあたり、表現を適切に行えるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在の自分自身の知識や考えを整理し、「発信する」という役割を担うことの意義を考えさせる。 | ・著作権、批評活動について学習する。 ・SNSなど通じて発信者となるという自覚のもと、どのように音楽を使ったら良いか、主体的に考える。 | | | | ○ | ・自分自身のインターネットに対する知見と合わせ、著作権法や情報発信の在り方を考えている(思)(知) ・これからの社会で、情報を発信する上での音楽、音響効果を考え、『適切に音楽を使用するとは』など考察している。(態) | ○ | ○ | ○ | 4 |

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|--|-----|------|-----|---|
| 教科名 | 芸術 | 科目名 | 美術 I | 単位数 | 2 |
| 対象学年・組 | 1学年A組・B組・C組・E組 | | | | |
| 使用教科書 | 日本文教出版 高校生の美術 1 | | | | |
| 使用教材 | 教科書・パルサ材・トレーシングペーパー・画用紙・ケント紙・和紙・短冊・鉛筆・筆・カリグラフィーペン・ドローイングインク・牛革 | | | | |

教科の目標

| | |
|-----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 美術史・デザイン史、それを取り巻く都市文化の形成に関連する技能を習得する。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | アートと芸術の相違点を判断し、現代文化の構築と適合させる伝統的スキルを考える |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 日常に注視しモノの成立の経緯を考え工業製品の在り方を意識する |

科目の目標

| | | |
|---|---|--|
| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
| 美術史・デザイン史を通じ現代のフォントが形成される中世写本からモリスを中心とするアーツアンドクラフツ運動を実践しながら技能を深める | 美術解剖に基づいた身体表現を試行。映像やインスタレーション創出への思考力の育成 | 現代建築や都市の景観に伴う多様な事象に興味を抱き、美的に解釈しアートの持つ価値に親和性を身に付けさせる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|---|-------------|---|---|----|---|---|---|---|------------------|
| | | | 絵 ・ 彫 | デ | 映 | | | | | | |
| 1 学 期 | A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | | | | | | | | |
| | 自己紹介カード【学びに向かう力、人間性】 ・身近なものの構造の面白さを見つける。 | 日常で接するモノに着目し既成概念にとらわれず表現する ・紙、鉛筆 | ○ | | | | ・見慣れているモノや普段気に留めていないモノを改めて見つめなおすことができているか。 ・身近なモノの構造の良さや面白さを見つけられているか。 | | | ○ | 2 |
| | 自画像【知識及び技能】 ・骨格などの身体の構成を知る。 自身の顔を立体的に表現する。 | ・トレーシングペーパーで顔面比率を考え頭蓋の部位を描写する。 ・顔面の比率を考えながら画用紙に転写し自然光を光源とした凹凸を意識して陰影で立体的に表現する。 ・端末を利用し多様な画家の作品を鑑賞し手法について考える。 ・画用紙・鉛筆・ネリけし・トレーシングペーパー | ○ | | | ○ | ・骨格などの身体の構成を意識して制作できているか。 ・鑑賞した作品や、自らの顔を観察により発見したことや気が付いたことを作品に反映することができているか。 ・自己と他者の表現の違いと共に、鑑賞を通して感情を共有することができているか。 | | ○ | | 10 |
| | 半立体模写【思考力、判断力、表現力】 ・鑑賞内容をふまえて名画を効果的にトリミング・強調する。 | 名画を鑑賞し、その一部をトリミング(部分拡大)して着色する。平面を彫り下げて線描を強調、あるいはパルサ材を加工して立体表現を試みる。 木材、彫刻刀、絵の具 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・制作過程を楽しみ、イメージした作品の制作に打ち込めたか。 ・名画を効果的に加工して自己表現できているか。 ・自己と他者の表現の違いと共に、鑑賞を通して感情を共有することができているか。 | | ○ | | 12 |
| 2 学 期 | イラスト【学びに向かう力人間性等】 ・学習した単色による表現方法を自らの作品に反映させられている。 | ・単色による線描でバリエーションを学ぶ ・ケント紙・クラフトペン ・端末を利用しビーズリー、ミュッシュヤ、北斎漫画などを鑑賞し現代のアニメにいたる経緯を再考する。 | ○ | | | ○ | ・画材の違いによって異なる表現ができるということを理解し、制作に生かすことができているか。 ・ペンやインクで表現されてきた世界的な美術の歴史の変遷が理解できているか。 | | | ○ | 8 |
| | カリグラフィー【知識及び技能】 ・線の教授悪を感じ、インクの特性を理解して表現する。 | ・中世写本にみられる文字の美しさを鑑賞し現代のフォントの源泉を考慮して実践する。 ・カリグラフィーペン、ドローイングインク、ケント紙 ・端末を使用しゴシックやイタリックの実例を考究する。 | | ○ | | ○ | ・インクの特性とペンによる線の美しさ、ゴシック体とイタリック体の相違点を表せているか。 ・カリグラフィー専用のペンでの表現を理解し、線の強弱を感じて制作できているか。 | | ○ | | 8 |
| | レザークラフト【知識及び技能】 ・皮革製品の特性を理解して製作することができる。 | ・文字やイラストで学んだスキルを材質の異なる牛革に工芸手法で表現する。 ・レザー、刻印棒、染料 ・端末でモリスのチョーサー本を調べ、その背景のラファエロ前派による工芸作品と派生した日本の民芸運動について鑑賞する。 | | ○ | | ○ | ・皮革製品の特性を理解しているか。 ・制作過程を楽しみ、イメージした作品の制作に打ち込めたか。 ・凹凸による表現の多様性を学習して伝統技術への理解を深めることができているか。 | | ○ | | 12 |
| 3 学 期 | 立体カード【思考力、判断力、表現力】 ・材料・道具の特性や使い方を理解して細密な表現をする。 | ・東京工業大学の立体展開図に基づき、開閉により建造物が表出する構造について予想しながら制作する。 ・端末を使用しイェンセン・レ・クリント(デンマーク)の照明など多様な類例を調べる ・デザインカッター、ケント紙 | | ○ | ○ | ○ | ・紙の特性を学習し応用できているか。 ・平面の展開図から正しい立体へ制作できているか。 ・完成した形を予想して効果的な着色できているか。 ・デザインカッターなどの道具の使い方を理解し、細密な表現ができているか。 | | | ○ | 12 |
| | 日本美術史・水墨画。白描画【知識及び技能】 ・日本の伝統美術を意識して製作する。 | ・日本の絵巻から興味を示した部分を模写し日本美術史を実践鑑賞する。 ・和紙、墨、筆、短冊 ・端末を使用し平安末期から登場した様々な絵巻を鑑賞する。 | ○ | | | ○ | ・鑑賞した絵巻などの日本の伝統美術を意識して制作することができているか。 ・材料の特性を理解し墨ならではの表現技法を作品に生かすことができているか。 | | ○ | | 6 |

令和5年度 年間授業計画

| | | | | | |
|--------|---------------------|-----|-------|-----|---|
| 教科名 | 人間と社会 | 科目名 | 人間と社会 | 単位数 | 1 |
| 対象学年・組 | 1学年 | | | | |
| 使用教科書 | 「人間と社会」改訂版 東京都教育委員会 | | | | |
| 使用教材 | | | | | |

教科の目標

| | |
|-----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明する力を養う。 |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組み、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 |

科目の目標

| | | |
|--|---|---|
| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けさせる。 | 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 演習や体験活動に主体的・共同的に取り組むことにより、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 記 時 数 |
|-----------------------|---|---|---|---|---|---|-------------|
| 1 学 期 中 間 | A 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。 | ・指導事項 第1章、第2章、体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | B 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。 | ・指導事項 第3章、体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | | | |
| 1 学 期 末 | C 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。 | ・指導事項 第4章、第5章 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | D 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。 | ・指導事項 第6章、第7章、第8章、体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | | | |
| 2 学 期 中 間 | E 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。 | ・指導事項 第9章、第10章、第11章 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | F 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。 | ・指導事項 第12章、第13章、体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | | | | |
| 2 学 期 末 | G 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。 | ・指導事項 第14章、第15章、体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | H 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。 | ・指導事項 第16章、第17章、体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | | | | |
| 3 学 期 | 【知識及び技能】 自分と社会との関りについて理解している。 収集した情報を活用するとともに、自分と社会との関りを踏まえて、新しい課題をみ出すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と社会との関りや、多面的・多角的な視点を含め、関に対する考えを確くとともに、新しい課題を設定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として、主体的・協働的に行動しようとしたり、学び続けようとしたりしている。 | ・指導事項 第18章、第19章、体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 学年末考査 | | | | | | |